

〔 横浜市民ギャラリーあざみ野 〕
 平成 24 年度業務報告及び収支決算
 〔 公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団 〕

- ※ 文中の事業欄において、
 ●：主催事業。○：共催事業
 を示します。
- ※ 文中の達成指標、達成状況欄において、
 □：定量的指標。■：定性的指標
 を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜市民ギャラリーあざみ野
所在地	青葉区あざみ野南一丁目17番地3
構造・規模	鉄筋鉄骨コンクリート造地上3階・地下1階
敷地・延床面積	敷地面積 4,283 m ² 延床面積 7,899 m ² / 専有面積 1,975 m ²
開館日	平成17年10月29日

2 指定管理者

団体名	公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区北仲通四丁目40番地
代表者	理事長 澄川 喜一
代表者設立年月日	平成3年7月10日
指定期間	平成22年4月1日から平成27年3月31日まで

3 指定管理に係る業務総括

(1) 基本的な方針の総括

指定管理第2期のテーマ「アートで元気になろう」の事業展開を継続しました。
 アートを積極的に生活に取り入れこころ豊かに暮らす市民といっしょに地域に働きかけ、横浜を元気にすることを目指し、創造性のある活動を多く行いました。いろいろな活動をしている人たちが知り合い、協力しあい、新しい活動が生まれる体制づくりに努め、すべての人に開かれた運営に男女共同参画センター横浜北（以下「センター横浜北」とする）とともに取り組むことで、横浜市の地域文化振興に貢献しました。

(2) 24年度の業務の方針及び達成目標の総括

① 事業の総括

企画展、通年でやっているアトリエ講座等の内容を充実させ、市民が美術に触れる機会(鑑賞・参加)を数多く提供しました。センター横浜北との連携により、複合施設の特性を生かしたプログラムを実施しました。アートサポーターをはじめとする市民協働や参加型事業の展開を通して、市民がアートと出会う機会を増やしました。特にコンテンポラリーアートを紹介することで、現在進行形のアート体験ができる施設としての機能を発揮しました。

② 運営の総括

貸館利用者のサービス向上、バリアフリーの推進等、センター横浜北と共同で利用者の居心地のよい施設運営に努めました。利用者の目線に立って希望を受け止め、芸術文化活動の成果が最大限発揮できるよう、専門的なサポートを行いました。また、横浜市所蔵カメラ・写真コレクションの整理・保存・活用を推進しました。

③ 管理の総括

設備業者とともに、設備や備品の適切な保守管理を行いました。アートフォーラムあざみ野全体で環境に配慮するとともに、安心で明るく使いやすい施設管理に取り組みました。

④ その他の総括

ホームページ等で活発に情報発信し、利用者の利便性も向上させました。常に来館者の視点に立ち、センター横浜北との連携を図りながら、施設運営・事業展開の両面において成果を上げました。

4 業務の達成状況

(1) 事業について

ア 文化芸術に直接出会える場について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>●展覧会事業</p> <p>アートに出会える場として、横浜にある芸術文化資源を生かした企画(「横浜wo発掘suru展」)、子どもから大人まで楽しめる参加型の企画(「あざみ野こどもぎやらりい」)、アーティストの現在の表現活動に目を向け、ダンスフェスティバルとも連携した企画(「あざみ野コンテンポラリー」)、カメラ・写真の企画(「横浜市所蔵カメラ・写真コレクション+写真展」)など、多彩な展覧会を実施します。</p>	<p>□4回の展覧会で、関連事業を含め入場者数12,000人以上。</p> <p>■アンケートを実施し、企画展4回の平均満足度4.6以上。</p>	<p>・展覧会4回を計画通り実施しました。</p> <p>「横浜wo発掘suru vol.3 しりあがり寿★ワールド ゆるとびあ」入場者:2,692人、アンケート満足度4.53。</p> <p>「あざみ野こどもぎやらりい2012」入場者1,660人、アンケート満足度4.49。</p> <p>「あざみ野コンテンポラリー vol.3 ART× DANCE2013」入場者3,161人、アンケート満足度4.54。</p> <p>「石川真生 沖縄を撮る+カメラ・写真コレクション公開 アメリカ写真の黎明」入場者4,592人、アンケート満足度4.68。</p>	<p>□企画展4回の入場者数は合計12,105人でした。それぞれ展示内容、関連事業ともに好評をいただき、高い評価を得ました。</p> <p>■顧客満足度は平均4.56(5点満点)でした。</p> <p>■いずれも各種メディアで紹介され、特に「写真展」では新聞、専門誌などあわせて31件掲載されました。</p>

イ 市民やアーティストの創造活動の支援の場について

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市民のためのワークショップ 美術創作の基礎基本の習得を目的とした講座や、アーティストによるレクチャーと制作を行う講座等を実施します。 ●創造活動支援 ホワイエに設置した展示ケースで、アーティストの小品展「ショーケースギャラリー」を行います。 ●市民協働企画 アートの領域を広げ、生活の中にあるさまざまなことを学ぶ場・「あざみ野カレッジ」を実施します。コンテンポラリーの企画展等においてサポーターに運営に関わっていただき、新進アーティストを紹介します。その中で1人のアーティストを「今年の顔」として継続的に支援します。 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> □市民のための講座・ワークショップを年間8講座以上実施。 □講座・ワークショップ参加者延べ850人以上、平均満足度4.6以上。 □ショーケースギャラリーで、新進アーティストによる展示を6回実施。 □あざみ野カレッジは、5年間で学生数1,000名(24年度200名)。 	<p>[実施内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業を計画通り実施しました。市民のためのワークショップは、「陶芸」「テンペラ画」「カリグラフィ」など、毎回充実した内容で参加者の好評を得ました。 ・あざみ野カレッジは、多彩なテーマでほぼ毎月実施しました。 	<p>[達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> □市民のための講座等を年間13講座実施。 □参加者延べ835人、平均満足度4.76。リピーターを増やすとともに、初心者にも専門性の高い講座を希望する方々にも応える、多彩なプログラムを提供しました。 □ショーケースギャラリーは5回実施。それぞれの作家の制作過程をサポートし、「臼井良平展」では関連ワークショップも実施しました。 □あざみ野カレッジは11回実施、参加者延べ約194人。(平成22年度から3年間で584人)。
---	--	--	--

ウ 次代を担う子どもの創造性教育の場について

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●財団中期経営計画の基本施策「3. 未来の横浜を担う子どもの創造性を育むための仕組みづくり」の目標達成に取り組みます。 ●子どもためのプログラム 創造活動の場として、親子が粘土、紙、えのぐで遊べる造形ひろばや、幼児・児童・個別支援学級や特別支援学校に通う親子を対象にした多彩なワークショップを開催します。また、男女共同参画センターと共同で、音楽に親しむ事業として「ジュニアコーラス」を行います。 ●学校教育との連携 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> □子どもためのワークショップを年間10講座以上実施。 □親子のフリースペースを含め、子どもためのプログラムへの参加者延べ8,200人以上。 ■学校教育との連携を推進するため、中学校教諭の美術研究会の研修に協力。 □アーティストと共に近隣の小中学校へ出向いて生徒と一緒に創作を行う、美術アウトリーチ事業を5回以上実施。 	<p>[実施内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップや事業を計画通り実施しました。 ・当財団の中期経営計画(2011-2013)の基本施策として位置づけ、ネットワーク構築を推進しました。 	<p>[達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> □子ども向け講座を17講座実施。 □子供のためのプログラム参加者：延べ約9,566人。 ■中学校(美術研究会)、小学校(青葉区図工研究会)の教諭の研修会を実施。 □アーティストと共に学校等で4回のアウトリーチ事業を実施。学校の授業とは違ったアートの体験を子どもたちに提供しました。
---	---	--	---

<p>鑑賞事業として展覧会を活用してもらうための連携事業を開催するほか、教師を対象に鑑賞・実技のワークショップを開催します。また、中学や高校美術の先生と連携し、事業への参加を促します(ティーチヤーズあざみ野プロジェクト)。</p> <p>●アウトリーチ 「横浜市芸術文化教育プログラム」に協力し、コンテナラリーアートに親しむプログラム等を実施します。</p>			
---	--	--	--

エ 創造活動と社会、市民活動を結びつける場について

<p>[取組内容] サポートコーディネイトをします。</p> <p>○北部4区美術公募展 実行委員会と共催し、市民の創作活動の発表の場を提供します。</p> <p>○青葉区民芸術祭 絵画・書道・写真・茶道・文芸など、施設全体を総合的な芸術活動による市民交流の場とします。</p> <p>●街なかアートプロジェクト 地域のさまざまな市民活動と結びつき、出張事業を行います。</p>	<p>[達成指標] <input type="checkbox"/> 北部公募展の応募総数250点以上。 <input type="checkbox"/> 青葉区民芸術祭は前・後期で入場者数5,000人以上。 <input type="checkbox"/> アート屋台などを活用し、街なかアートプロジェクトを5年間で15事業実施。(24年度3事業)</p>	<p>[実施内容] ・北部公募展、青葉区民芸術祭ともに青葉区を中心とする運営団体との協力を強め、充実した内容の展示となりました。 ・街なかアートプロジェクトは、AOBA+ARTの活動の場等で出張ワークショップを実施しました。</p>	<p>[達成状況] <input type="checkbox"/> 北部公募展の応募総数は333点。 <input type="checkbox"/> 青葉区民芸術祭の入場者は前後期あわせて4,398人。お茶席など、来館者との交流が活発に行われました。 <input type="checkbox"/> 街なかアートプロジェクトを2事業実施。</p>
---	---	--	--

オ 創造活動を介した人々の関わり合いの場について

<p>[取組内容] ●フェローアートギャラリー 障がいのあるなしにかかわらず認め合える豊かな関係を築くことを目指し、作品展示を通して特別支援学校や作業所での創造活動を支援します。</p>	<p>[達成指標] <input type="checkbox"/> フェローアートギャラリーにおいて2組以上の展示発表を実施。 <input type="checkbox"/> アートカフェを3回、アートワゴンを9回、あざみ野ナイトを1回実施します。自主事業との相乗効果で来館者</p>	<p>[実施内容] ・事業を計画通り実施しました。フェローアートギャラリーでは、独特の感性で個性豊かな表現活動を展開している、障がいのあるアーティストたちの作品を展示しました。</p>	<p>[達成状況] <input type="checkbox"/> フェローアートギャラリーにおいて6回の展示を実施。 <input type="checkbox"/> アートカフェを3回、アートワゴン(“マルシェ”を含む)を9回実施し、アーティストや市民間の交</p>
---	--	--	--

<p>●アーティストと市民の交流 市民協働で運営するアートカフェ、アートガーデン、アートワゴンを通じ、市民とアーティストが知り合う場、アーティストや障がいのある人たちのアート作品を発表・販売する場を創出します。</p> <p>●あざみ野ナイト 建物の壁面や窓ガラスを使って映像作品を映し出すイベントを行い、アートを生かした親しみやすく賑わいのある場をつくります。</p>	<p>を増やし、充実した芸術文化体験の場を提供。</p> <p>□あざみ野ナイト開催日の来館者数 2,200 人以上。</p>	<p>・アートワゴンでは、アーティストや障がいのある人と市民との交流の場が生まれました。</p> <p>・あざみ野ナイトでは企画展「こどもぎやらりい」参加アーティストの映像作品を上映し、親子連れなど多くの来場者で賑わいました。</p>	<p>流を推進しました。あざみ野ナイト 1 回実施。</p> <p>□あざみ野ナイト開催日(8/26)の来館者(入館者)は1,440人でした。</p>
---	---	---	---

(2) 運営について

ア 市民の利用を促進することについて

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<ul style="list-style-type: none"> 引き続きアトリエの平日夜間料金を半額とし、新規利用者開拓と利用促進を図ります。 ほぼ 100%利用となっている展示室については、遺漏のない貸し出し業務を行います。 利用団体の展覧会情報をHPで紹介し、広報協力をします。 利用者の意図が最大限発揮できるよう具体的なアドバイスをします。 	<p>□アトリエの利用率：5年間で70%（24年度は65%）</p> <p>□アトリエの夜間利用率(24年度)：25%</p> <p>■アンケートの集計による利用者の満足度 4.6 以上。</p>	<ul style="list-style-type: none"> アトリエの定期利用者が増え、あざみ野カレッジなどの市民協働事業でもアトリエを有効利用しました。平日夜間料金の半額適用は引き続き実施し、利用促進を図ります。 HPで貸出備品を画像で紹介し、展示方法についても適宜アドバイスしました。利用者の満足度は高く、回答した方の内ほぼ全員が「また利用したい」と回答しています。 	<p>□アトリエ利用率：66%（コマ単位）。日にち単位では94%。</p> <p>□アトリエ夜間利用率：35%。</p> <p>■アンケートによる利用者満足度は4.7。</p>

イ 施設運営における市民参画を促進することについて

<p>[取組内容]</p> <p>・「あざみ野アートサポーター」との協働を推進し、展覧会、ワークショップおよび広報事業にご協力いただきます。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□アートサポーター登録者 目標数：5年間で150名（24年度は140名）</p> <p>■アートサポーターに企画展や広報事業で活動していただきます。</p>	<p>[実施内容]</p> <p>アートサポーターの方々に、企画展の運営協力やワークショップ講師など、多方面で活動していただきました。</p>	<p>[達成状況]</p> <p>□アートサポーター登録者数160名。</p> <p>■企画展開連イベントのレポートの執筆や、視覚に障がいのある方の企画展鑑賞会でのサポートをしていただきました。</p>
--	---	---	---

ウ 積極的な広報を展開するについて

<p>[取組内容]</p> <p>・情報誌「アートあざみ野」で、貸館利用者の情報のほか、当館の事業活動のPRをします。</p> <p>・メルマガの登録者（「あざみ野メンバーズ」）を増やし、事業やサポーター活動情報などの新鮮な情報発信をします。</p> <p>・「あざみ野アートネットワーク」としてホームページを活用し、横浜のアート情報にアプローチしやすくするとともに、ネット広報事業を推進します。</p> <p>・施設の活動が的確に多くの市民に伝わるよう、様々な媒体を通じて広報を行い、来館者増につなげます。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□ホームページアクセス件数：年間45万件以上。</p> <p>□あざみ野メンバーズ登録者目標数：5年間で10,000名。</p> <p>□メールマガジンやホームページでのアート情報発信を推進します。メールマガジンは月1回の定期配信。</p> <p>■広報する内容によって有効な媒体を選択し、コストパフォーマンスを高めます。</p>	<p>[実施内容]</p> <p>・ホームページで常に最新情報を発信し、アクセス数が順調に増えています。効果的な広報・情報提供を進めました。</p> <p>・メルマガを毎月発信し、展覧会や各講座の有効な告知手段になっています。</p> <p>・コンテンツラリーアート（企画展）に関して有効なウェブ広告やツイッターでの広報を行いました。</p>	<p>[達成状況]</p> <p>□ホームページアクセス数：563,109件（月平均46,925件）。</p> <p>□あざみ野メンバーズ登録者：984名。</p> <p>■メールマガジンを毎月1回定期発信するほか、イベントに合わせて随時発行。</p> <p>■特に企画展において、ウェブ広告やツイッターでの情報提供により、来場者誘致が進みました。</p>
--	--	---	--

エ 市民ニーズ、市民満足度等の把握と対応について

<p>[取組内容]</p> <p>顧客満足度調査（アンケート）を実施し、分析結果を管理運営に反映していきます。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■利用者サービスの向上を図るため、クレームや意見について職員の情報共有と検討を行い、迅速な運営改善につなげます。</p> <p>■美術館×インクルーシブ×デザイン実行委員会のメンバーとして参加している「みんなの美術館プロジェクト」の提案を受け、障がいのある人を対象にしたギャラリーツアーの実施や、サインの工夫をします。</p>	<p>[実施内容]</p> <p>・アンケートや窓口でのご意見には迅速で適切な対応をしました。</p> <p>・施設内の催事情報が見やすいように形式を統一するなどの工夫をしました。</p>	<p>[達成状況]</p> <p>■展示室の顧客満足度は高く、目立ったクレームはほとんどありませんでした。</p> <p>■アトリエの備品について、利用者のアンケートにより保管場所を移動。</p> <p>■企画展開催中に「視覚に障がいがある人となない人が共に楽しむ鑑賞会」を毎回実施。</p>
---	--	--	--

オ カメラ・写真コレクションの適切な収蔵、保管、調査、研究、発表、活用、展示について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>収蔵庫管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 適切な収蔵庫管理を行います。 <p>管理・保存</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料の映像記録やデータベースを整備します。 日常的に状態を確認し、必要な修復等を行い、適切な保存に努めます。 <p>調査・研究・発表</p> <ul style="list-style-type: none"> 主要な機関と連携して調査研究を進めます。 市民のためのワークショップにおいて、資料を活用します。 ショーケースギャラリー（ロビー展示）において小展示を行います。 <p>活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 貸出、熟覧に柔軟に対応します。 横浜市の写真関連事業への協力を行います。 	<p>□年間を通じて温度は 20℃±2℃、湿度 50%±2%。24 時間温湿度・空気集中システムと、3 基の自記式温湿度記録計にて常時監視し、管理は電気式パッケージエアコンで行います。</p> <p>■pH 値を定期的に測定し、測定結果に応じたケミカルフィルターを設置。</p> <p>■定期的に文化財喰害虫生息調査を実施し、結果をもとに適正管理を行います。</p> <p>■管理・保存、調査・研究については東京都写真美術館、日本カメラ博物館、横浜美術館などの専門機関の協力をあおぎながら進め、カメラ・写真の発達の歴史や、文化・風俗との関わりなどを発信します。</p> <p>■講座実施や資料活用については、外部の専門家にも講師依頼をし、写真制作に関わる理解を推進します。</p> <p>□ショーケースギャラリーでは、資料を有効に活用し様々な切り口で展示を年 4 回行います。カメラ・写真コレクションの愛好者を増やすことを目指します。</p>	<p>・設備業者と月 1 回の収蔵庫点検を実施し、良好な環境を保ちました。</p> <p>・担当職員が他機関や専門家との交流を通して専門知識を高め、資料管理や調査研究に役立てました。</p> <p>・担当職員がコレクションの分類方法について調査・研究し、横浜美術館の研究紀要に発表。</p>	<p>■常に点検業者・設備業者との連絡をとり、収蔵庫内の環境は良好。</p> <p>■フォト・ヨコハマ 2012 に合わせて写真展（企画展とコレクション公開）を実施。相互の広報協力で、来場者増につなげました。</p> <p>■外部講師による写真制作のワークショップを開催。</p> <p>□ショーケースギャラリー（ロビー展示）を 4 回実施。</p>

利用状況等について

施設名	24年度	
	稼働率	利用者人数
展示室1・2	100% (100%)	71,866 人
アトリエ	94% (66%)	15,855 人
その他		
合計		87,721 人

※稼働率：日にち単位（時間帯単位）

(3) 管理について

ア 市民ギャラリーあざみ野占有部分における建物・設備・備品の適切な保守管理及び予防保全について

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備業者とともに建物・設備の保守管理を確実にを行います。展示室の壁面の補修や備品のメンテナンスなど、良好な状態を保ちます。 ・法定点検を遺漏なく実施します。 ・展示室やアトリエの空調や清掃を適切に行い、快適な環境維持に努めます。 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■年間無事故を目指します。 ■修繕必要箇所迅速に対応します。 □展示室壁面を年1回メンテナンス(塗り直し)します。 ■クレームの無い、快適な環境維持を目指します。 	<p>[実施内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間計画どおりの点検・メンテナンス業務を実施し、不具合箇所の早期発見に努めるとともに、環境維持管理を適切に行いました。 ・建物の長寿命化のため、委託会社との情報共有や適切な保守業務を行いました。 	<p>[達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■年間無事故でした。 ■経年劣化箇所の修繕を実施(共有部分10か所、専有部分1か所)。 □展示室壁面塗り直しを予定通り実施し、展示室環境を良好にしました。 ■快適な環境維持を実現し、クレームはありませんでした。
---	--	---	--

イ 環境問題への配慮について

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員や利用者の廃棄物については、適切な管理、搬出を行います。 ・光熱水費の削減に努めます。 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ゴミの分別を徹底し、排出量を抑えます。 ■利用者にはゴミの持ち帰りの原則を徹底し、必要な場合はゴミ袋を有料で販売します。 □電気や空調を無駄に使用しないよう心がけ、光熱水費を前年度比▲1%とします。 	<p>[実施内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの削減のため、分別のほかペーパーレスや再利用に努めました。 ・こまめな消灯や電源オフ、空調管理を実施しました。 	<p>[達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■設備会社と協力し、ゴミ分別を適切に行いました。 ■利用者の理解も進み、ゴミの持ち帰りが徹底されています。 □光熱水量の節減に努めましたが、電気料金の値上げや気候状況(夏季の高温・冬季の低温)により、光熱水費は前年度比+13%。
---	--	---	--

(4) その他について

ア 危機管理対策の充実について

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危機の未然防止に努めるとともに緊急対応体制を整備し、事故発生時には市へ迅速に報告します。 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■危機管理マニュアルを随時更新し、危機の際には全員が一致して取り組みます。 □合同防災訓練を年間2回実施します。 	<p>[実施内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常に防災意識を持ち、随時マニュアルを見直しました。 ・地震とそれにとまらぬ火事を想定した避難訓練を実施し、訓練等を通して日常的な危機管理意識向上に努めました。 	<p>[達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■常に設備会社とともにマニュアル見直し・施設の点検と修繕を怠らず、大きな事故なく施設運営を行いました。 □防災訓練を2回実施。避難訓練では、立会いの青葉消防署江田出張所長から高評価をいただきました。
---	---	---	--

イ 保険及び損害賠償の適切な取り扱い、個人情報の保護への適切な措置、情報公開への積極的取組みについて

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保険及び損害賠償について適切に取り扱います。 ・ 個人情報保護、情報公開に適正に対応します。 ・ ホームページを活用し、必要な情報を開示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ■賠償責任保険、レジャーサービス保険、動産保険に加入し、事故の発生に備えます。 ■常に個人情報保護意識を持ち、集めた個人情報は規程に基づき適切に取り扱います。 ■施設利用者向けの必要な情報は、施設ホームページにおいて速やかに公開します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・企画展の出品作品、アートサポーターやワークショップ参加者の館外での活動に保険加入しました。 ・個人情報保護の注意喚起の貼り紙掲出、書類の収納場所の変更、データへのパスワード設定など常に取り扱いに注意を払いました。 ・ホームページでは最新の情報を常に発信しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ■必要な保険に加入しました。 ■個人情報を適切に取り扱いました。 ■施設の空き状況や講座の応募状況など、利用者に必要な情報を速やかに発信・更新しました。

ウ 男女共同参画センター横浜北との連携について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>事業面での協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企画段階多くの住民に足を運んでもらうとともに、当館をアピールすることを目指します。 ・ 企画段階から共同し、複合施設の相乗効果を発揮するとともに、双方の特色を活かした事業を行います。 <p>運営面での協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常業務や定例の打ち合わせにおいて情報や意見の交換をし、「アートフォーラムあざみ野」の施設職員としての意識を高め、効果的な運営に取り組みます。 ・ アートフォーラムあざみ野全体としての 	<ul style="list-style-type: none"> □ロビーコンサートを月2回実施し、エントランスの賑わいを創出するとともに、来館者に、気軽に芸術を鑑賞する機会を提供します。 □アートフォーラムフェスティバルを年1回実施し、施設の賑わいと人々の交流の場を創出します。来館者数2,500人以上。 ■女性と芸術文化をテーマにした「あざみ野サロン」、インターンシップ受け入れ等を共同の企画で実施し、来館者に幅広い鑑賞・体験の機会を提供します。 □週1回の管理合同ミーティングを実施（ギャラリー、センター、委託会社）。 □月1回の職員合同ミーテ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロビーコンサートは多彩なプログラムで毎回好評を得ました。 ・アートフォーラムフェスティバルでは協働で企画した多彩なイベントを実施しました。 ・事業面、運営面、維持管理面のいずれも、情報交換と協働を図り、効果的な事業活動と管理運営を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> □ロビーコンサートを24回実施。クラシックだけでなく、邦楽や合唱などを気軽にお聴きいただきました。 □「アートフォーラムフェスティバル」では、広報や当日の運営においても協力することで、様々な年齢層の来館者を迎え、全館がにぎわいました。来館者数2,417人。 ■あざみ野サロンを4回(うち1回はワークショップ)と、職場体験・インターンシップの受け入れを実施。 □週1回の管理合同ミーティングを実施（ギャラリー、センター、委託会社）し、適切な施設運営管理を実施。 □月1回の職員合同ミー

<p>広報、施設の環境整備に対して引き続き協力して取り組みます。</p> <p>維持管理面での協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委託会社を交えた定例の打ち合わせを確実に実施し、施設全体の適正な維持管理に共同で取り組みます。 ・ 委託会社にもそれぞれの財団のミッションや役割、事業内容、利用者の特性などについて伝え、有効な環境整備を推進します。 	<p>ィングを実施。</p>		<p>ィングを実施し、情報共有しました。</p>
--	----------------	--	--------------------------

エ 横浜アーティストデータベースの構築と運用について

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 横浜におけるコンテンポラリーアートの展開と発展のために実施します。 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 経営企画グループ(広報担当)と共同で LOD 化を推進し、財団内で連携したデータベース整備を図ります。 ■ 新進アーティストを継続して支援していくことを重要なミッションとして位置づけており、制作の支援、活動の紹介および発表の場の提供など積極的に取り組んでいきます。 	<p>[実施内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経営企画グループとともに LOD 化への整備を継続、データ入力を進めました。 ・ 「あざみ野コンテンポラリー vol.3」やショーケースギャラリーにおいて新進アーティストを積極的に紹介しました。 	<p>[達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ホームページにアーカイブ(アーティスト情報など)を追加しました。平成 25 年 5 月初旬に完了。 ■ 独自の表現活動を行うアーティストを取り上げ、作品制作支援やパフォーマンスの練習・発表の場の提供など、継続的に支援をしました。
---	---	--	---

(5) 収支について

ア コスト削減への努力について

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 適正な予算執行と業務の効率化による節減に努めます。 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 施設管理・事務事業にかかる経費を精査し、男女共同参画センターとも協力して広報費や委託費(施設管理にかかるもの)等の効率的な予算執行をします。 □ 管理費は前年度比▲1%を目指します。 	<p>[実施内容]</p> <p>一部消耗品の一括購入(折半)など効率化を進め、適正な執行と経費節減に努めました。</p>	<p>[達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 管理にかかる経費は、光熱水費を除いては前年度より削減しました。 □ 管理費全体では前年度比+0.3% (光熱水費増による)。
---	--	---	---

イ 収入向上及び外部資金導入の努力について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<ul style="list-style-type: none"> ・利用料金収入の安定的な確保に努めます。 ・自主事業等において、助成金・協賛金を獲得します。 	<ul style="list-style-type: none"> □利用料金収入(負担金を含む)年間 1,200 万円以上を維持。 □助成金を 2 件申請し、協賛金・広告料とあわせて獲得目標 320 万円以上。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用料金を適正に収受しました。 ・助成金(協賛金)を前年度申請分とあわせて 2 件獲得。 ・情報誌「アートあざみ野」への広告掲載企業確保に積極的に取り組みました。 	<ul style="list-style-type: none"> □利用料金収入は約 1,277 万円。 □助成金・協賛金を 230 万円獲得。広告料収入は 12 万円(合計 242 万円)。 <p>ただし、「しりあがり寿展」では協賛社(NECディスプレイソリューションズ)から約 330 万円相当の映像機器の無料貸与を受けました。平成 25 年度事業への助成金・協賛金を申請しました。</p>

5 収支決算額について

収支決算書

(単位:円)

項目	予算額	決算額	差額	備考
収入				
指定管理料収入	164,200,000	164,200,000	0	
利用料金収入	9,500,000	8,989,009	510,991	
事業収入	3,280,000	2,741,780	538,220	
その他収入	4,640,000	7,739,742	△ 3,099,742	※決算額のうち駐車場利用料分 3,732,250 円
合計	181,620,000	183,670,531	△ 2,050,531	

支出					
人件費	68,385,000	64,104,077	4,280,923	人事異動等による	
管理費	64,890,000	57,108,501	7,781,499		
内 訳	光熱水費	15,000,000	14,869,745	130,255	
	委託費	46,640,000	40,530,479	6,109,521	節減努力による
	修繕費	2,000,000	1,226,579	773,421	
	受託財産購入	1,250,000	481,698	768,302	
事務費	12,145,000	12,193,907	△ 48,907		
文化事業費	36,200,000	33,939,856	2,260,144		
合計	181,620,000	167,346,341	14,273,659		

収支計	0	16,324,190	△ 16,324,190	
-----	---	------------	--------------	--

【別紙】自主事業実績一覧

1 文化芸術に直接出会える場

No	実施時期	主催 共催	事業タイトル	会場	事業内容	入場料・受講料	入場者数 (見込者数)
1	6月23日～ 7月8日	主催	横浜 wo 発掘 suru 展 vol.3「しりあがり 寿ワルト ゆる とびあ」	展示室 1 アトリエ	多方面に創作の幅を広 げる横浜市在住の漫画 家・しりあがり寿の映像 インスタレーション。	無料	2,692人 (1,600人)
2	8月23日～ 9月2日	主催	あざみ野こどもぎ ゃらりい2012	展示室 1・2 アトリエ	小学生までが楽しめる 展示とアーティストと 一緒につくるワークシ ョップなど。	無料	1,660人 (3,800人)
3	10月20日～ 11月11日	主催	あざみ野コンテン ポラリーvol.3「A R T×DANCE 2012」	展示室 1・2、 アトリエ、レ クチャーラ ム、健康 スタジオ	絵画・写真・インスタレ ーション・ダンスなどの ジャンルを横断して、5 人のアーティストと共 に新しいアートの可能 性に挑戦する展覧会。	無料	3,161人 (3,200人)
4	2月2日～ 2月24日	主催	あざみ野フォト・ アニユアル「写真 家 石川真生—沖 縄を撮る+横浜市 所蔵がら・写真コレ クション公開 ア メリカ写真の黎 明」	展示室 1・2 アトリエ	沖縄を撮り続ける写真 家・石川真生の個展と、 アメリカ収蔵コレクシ ョンの公開。	無料	4,592人 (3,200人)

2 市民やアーティストの創造活動の支援の場

No	実施時期	主催 共催	事業タイトル	会場	事業内容	入場料・受講料	入場者数 (見込者数)
1	4月～3月	主催	市民のためのプロ グラム	アトリエ	技術や材料の扱いにつ いての基礎の習得を目 的としたものや、アー ティストからレクチャー を受け、自らの表現に生 かすワークショップな ど。	2,500～16,000円	835人 (850人)
2	6月～3月	主催	市民協働事業 ショーケースギャ ラリー	エント ランス ロビー	新進アーティストの作 品を紹介する小品展。	無料	— (フリースペース で開催のため)

3	4月～3月	主催	市民協働事業 あざみ野カレッジ	アトリ エほか	身の周りにあるアートに関する様々なことを、多彩な講師たちから学ぶ講座。	500円(登録料別途 500円)	194人 (200人)
---	-------	----	--------------------	------------	-------------------------------------	---------------------	----------------

3 次代を担う子どもの創造性教育の場

No	実施時期	主催 共催	事業タイトル	会場	事業内容	入場料・受講料	入場者数 (見込者数)
1	4月～3月	主催	子どものためのプログラム ① 親子のフリースペース ② ワークショップ ③ 親子で造形ピクニック	アトリ エ	① 保護者と子どもが自由に、粘土、絵の具、紙工作による造形遊びを楽しむ時間。 ② 子どもを対象とした美術系のワークショップ。 ③ 個別支援学級や特別支援学校に通う親子を対象にした造形の時間。	① 無料 ② 1,000～ 4,000円 ③ 100円	9,566人 (8,200人)
2	8月～12月	主催	学校連携事業 ①教師のためのワークショップ ②ティーチャーズあざみ野プロジェクト ③アウトリーチ	アトリ エほか	① 小・中学校の先生を対象にした鑑賞や実技についてのワークショップ。 ② 中学校・高校美術研究会と連携して美術と親しむ機会を提供。 ③ 「横浜市教育文化事業」と連携して実施。	無料	① と②45人 (20人) ③ 4回 (5回)

4 創造活動と社会、市民活動を結びつける場、創造活動を介した人々の関わり合いの場

No	実施時期	主催 共催	事業タイトル	会場	事業内容	入場料・受講料	入場者数 (見込者数)
1	7月～1月	共催	① 横浜北部公募展 ② 青葉区民芸術祭(前後期)	展示室 1・2	① 横浜市北部4区から公募した絵画を審査のうえ展示。 ② 絵画・書道・写真・文芸・茶道・華道の展示。区民の日頃の文化活動の成果発表の場。	無料	① 4,903人 (4,000人) ② 4,398人 (5,000人)
2	4月～3月	主催	市民協働事業 街なかアートプロ	館外	アート屋台で出張ワークショップを実施する	無料	— (フリースペース)

			プロジェクト		など、アートの持つ活力で街を元気にする事業。		で開催のため)
3	4月～3月	主催	市民協働事業 男女共同参画センター横浜北 共同事業 ① フェローアートギャラリー ② アートカフェ ③ アートワゴン ④ あざみ野ナイト	2Fラウンジ、アトリエ、エントランスロビー、アートプラザほか	①障がいのある人たちのアート作品を紹介するミニギャラリー。 ②市民とアーティストとが語り合う場。 ③アーティストや障がいのある人たちのアート作品を販売。 ④アートフォーラムの壁面やガラスを使って映像作品を映し出すイベント。	無料	— (フリースペースで開催のため)

5 積極的な広報展開

No	実施時期	主催 共催	事業タイトル	会場	事業内容	入場料・受講料	入場者数 (見込者数)
1	4月～3月	主催	情報紙「アートあざみの」、HPによる情報提供		当館主催事業のほか貸館の展覧会情報などの広報のため活用。	—	—
2	4月～3月	主催	ネット広報事業 あざみ野メンバーズ/あざみ野ネットワーク		メルマガ登録者を増やし、ホームページを活用して横浜のアート情報を発信。	無料	—

6 カメラ・写真コレクションの適切な収蔵、保管、調査、研究、発表、活用、展示

No	実施時期	主催 共催	事業タイトル	会場	事業内容	入場料・受講料	入場者数 (見込者数)
1	4月～3月	主催	横浜市所蔵カメラ・写真コレクションの保存と活用	収蔵庫、エントランスロビー	データベース整備、適切な保存業務。 コレクションの魅力を広く紹介するための貸出、公開。	無料	—

7 男女共同参画センター横浜北との連携

No	実施時期	主催 共催	事業タイトル	会場	事業内容	入場料・受講料	入場者数 (見込者数)
1	4月～3月	共催	センター横浜共同事業 Welcome ロビーコンサート	エントランスロビー	市民広間演奏会の演奏を中心に、様々なジャンルの音楽を楽しんでいただくミニコンサート。	無料	1,903人 (2,500人)
2	10月21日	共催	センター横浜北共	全館	アートフォーラムあざ	無料	2,417人

			同事業 アートフォーラムフ ェスティバル		み野の開館を記念して 毎年 10 月に全館あげて 実施。		(2,500 人)
3	11 月～12 月	共催	センター横浜北共 同事業 「クリスマスジュニア コーラス」	全館	小学生対象の合唱。ワー クショップ 9 回と本番 (ロビーコンサート出 演) 1 回。	3,500 円	35 人 (30 人)
4	8 月～3 月	共催	センター横浜北共 同事業 「あざみ野サロン」 ほか舞台芸術系事 業	レクチャー ーム、ア ト リエ	講演会やコンサートな ど、女性と芸術文化をテ ーマにしたイベント。	500～3,000 円	3 公演・241 人 (3 公演・400 人)
5	8 月	共催	センター横浜北共 同事業 共催ワークショップ 、インターンシッ プ	全館	共通するテーマのワー クショップ、高校生の職 場体験、大学生インター ンの受け入れ、協働での 企画等。	無料～1,000 円	45 人 (20 人)